

大相模調節池水辺活用調整協議会 第8回協議会 会議録（要旨）

1 日時

令和6年（2024年）7月8日（月）午後4時から午後5時まで

2 会場

水辺のまちづくり館 大会議室

3 出席者

大相模自治会連合会、川柳地区自治会連合会、レイクタウン北自治会
レイクアンドピース株式会社、特定非営利活動法人越谷ふるさとプロジェクト、
特定非営利活動法人セイラビリティ越谷、一般社団法人越谷市観光協会、
埼玉県河川環境課、埼玉県越谷県土整備事務所、埼玉県東部地域振興センター
越谷市都市計画課、越谷市公園緑地課、越谷市経済振興課（事務局）

4 オブザーバー

イオンモール株式会社

5 内容

■議事 協議会会長、越谷市経済振興課長のあいさつの後、議事に入った。 （1）AゾーンおよびCゾーンの整備について <主な意見等>	
事務局 （越谷市経済振興課）	市経済振興課より、AゾーンおよびCゾーンについての全体概要の報告を行った。その後、越谷県土整備事務所より、新栈橋の現在の整備状況および今後の整備予定について説明があった。要旨は以下のとおり。 ・イオンレイクタウンアウトレット前に水上デッキおよび店舗を整備する。水辺のまちづくり館側にもう1組整備予定であったが、規模を縮小し検討している。 ・新栈橋は、水上デッキ縮小による接続の利便性等を勘案し現在の形で整備を進めている。 ・南側拠点施設は事業計画を基本として整備、運営の検討を進めている。

委員 (県土整備事務所)	・水上デッキおよびデッキへのアプローチについて、配布の図面のとおり設計を進めている。 ・8月のお盆明け頃から工事のための仮囲いを設置する予定。下部工は今年度末の完成を予定している。 ・南側拠点施設の整備については、地盤となるウッドデッキを整備し、芝法面や階段などでデッキにすりつける検討を行っている。
委員 (越谷市観光協会)	(主な質疑)
(県土整備事務所)	・仮囲いの通り抜け部分の幅はどの程度か。また、通り抜け部分の斜めでの設営や、隅切りは検討しているか。 ・Cゾーンの樹木は伐採することとなるか。 ・通り抜け部分の幅は2m。隅切りや斜めでの設営については現場合せで対応を検討したい。 ・Cゾーンの樹木は伐採の方向で検討しており、移植は難しい。別の場所で新たに植樹する等で対応したい。
委員 (セイラビリティ越谷) (県土整備事務所)	・水上デッキの設計について、調節池の水位を何mとして想定しているか。 ・1.5mを想定している。
(レイクタウン北自治会) (県土整備事務所)	・仮囲いの範囲について、市道をどれくらいの幅で占有することになるか。また、デッキ下部の管理用通路は通行できなくなると思うが、市道やデッキにはどのように接続されるのか。 ・市道幅4mのうち、1.5mを占有する予定。管理用通路からウッドデッキへは階段での接続を予定している。管理用通路はデッキ付近で市道へ切り回しを予定しており、自転車はその経路で通行することを想定している。
(レイクタウン北自治会)	・歩行者、自転車の通行が多い箇所であるため、安全には十分配慮してほしい。
事務局 (経済振興課)	続いて、大相模調節池河畔の占用及び施設使用契約について事務局より説明を行った。 ・「水辺deベンチャーチャレンジ」の実施にあたり、埼玉県、イオンモール株式会社と占用および施設使用契約について協議を進めており、令和6年9月からの本格実施に向けて調整を行っている。 ・施設運営の詳細はまだ調整中であるため現在お示しできるものがないが、芝生エリアについては従来とおり市民の皆様の憩い・交流の場と

	して使用いただける方向性で検討をしている。 (特に質疑無し) 続いて、埼玉県河川環境課より、浮く畑およびネーミングライツに関する報告があった。事業の実施による効果や、浮く畑の色彩等について議論がなされた。
■その他 ○事務局から ・次回会議については、令和6年8月を予定。	